

# 農業農村情報通信環境整備準備会

「個別地区支援説明会」資料

2024年7月17日（水）

説明担当 下塚田ふるさと応援隊

事務局長 日高新次



下塚田ふるさと応援隊

# 地域が求める課題解決の為に

LoRaWAN Wi-Fi Halo 等を利用した

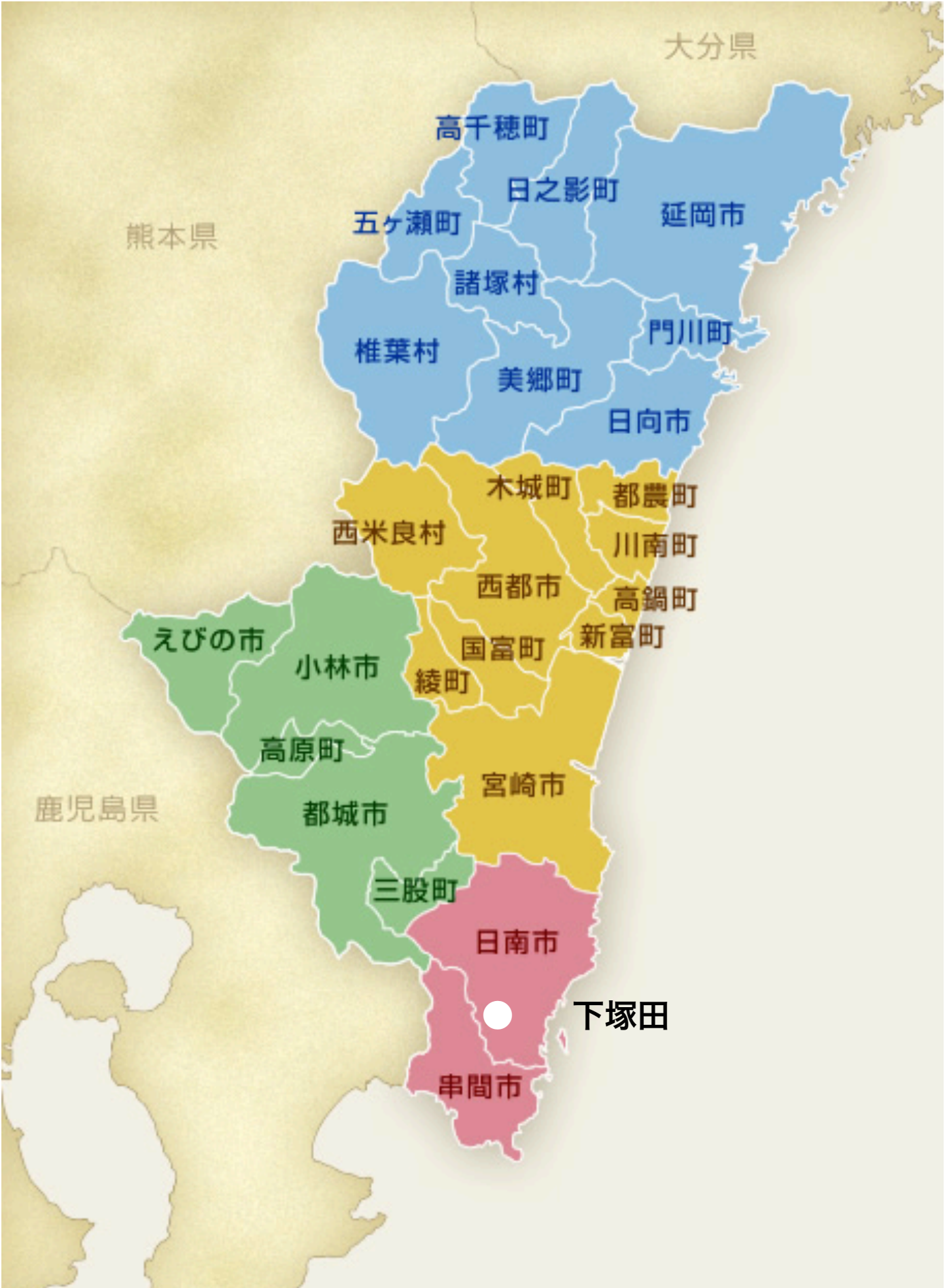
地域内ネットワーク構築

の可能性の提案を求めています！



下塚田ふるさと応援隊

# 地区の概要 日南市の位置



# 地区の概要 位置概要

下塚田地区（下塚田自治会：2010年2月9日に認可地縁団体として組織化）



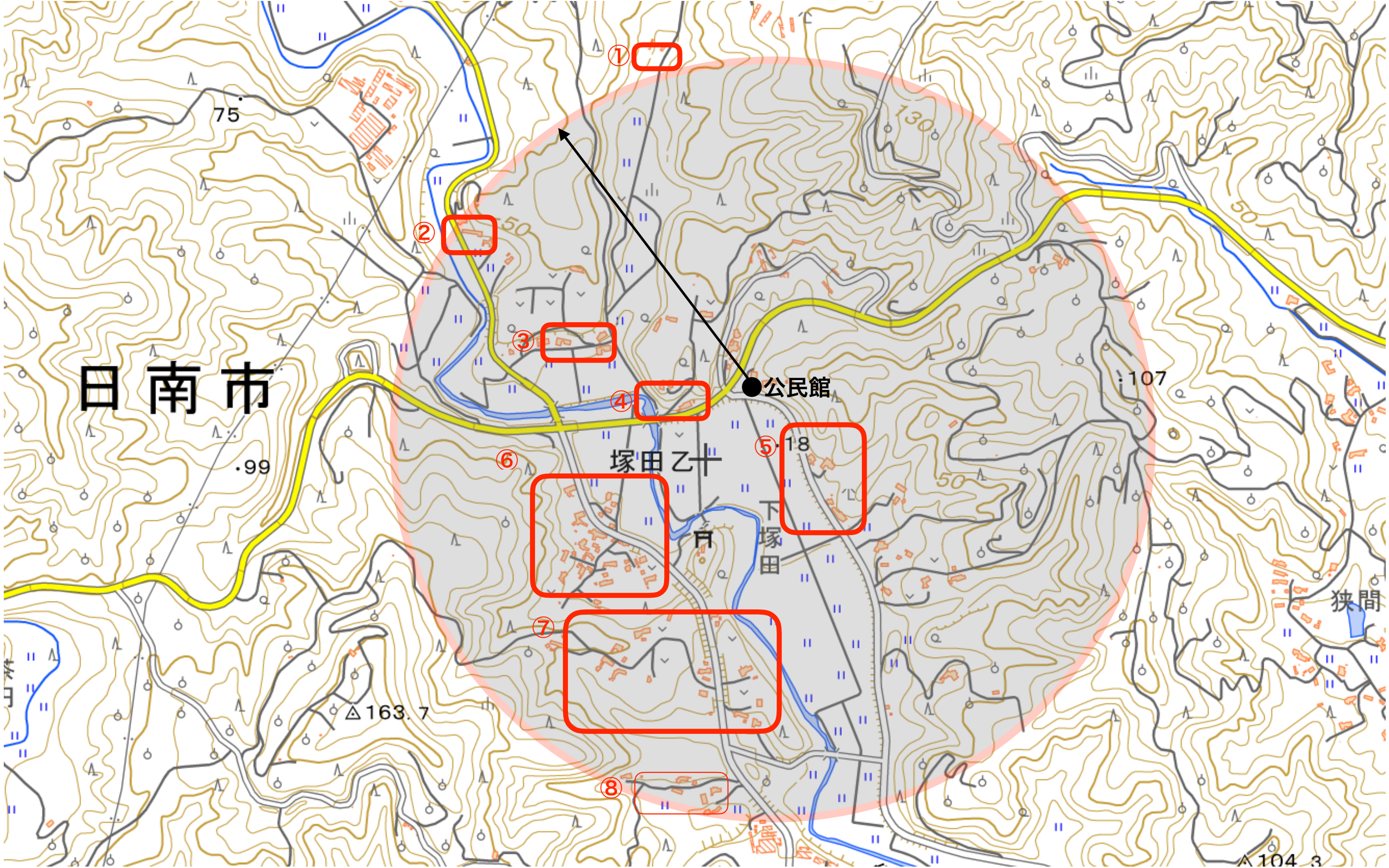
# 地区の概要 地区全景



下塚田ふるさと応援隊

# 地区の概要 住居位置

半径≒1,000m



- 世帯数71 戸
- 地区人口139人
- 5 班で構成

## 地域の将来ビジョン

『支援する・支援される』という関係ではなく、お互いに助け合う『互助』の思いを醸成させ、「地域コミュニティ」を強化し、「農用地」「地域資源」「生活支援」を保全管理していく事で、

住み慣れた地域で“いきいき”と輝きながら暮らせる

『終の棲家下塚田』

を目指しています。



下塚田ふるさと応援隊

## 地域の現状：人口減少と高齢化に伴う担い手不足

現実問題として、農協の仕組みだけでは時代の変化についていけなくなってきました。農家として生活が成り立たないので、跡継ぎが地域からどんどん居なくなってからきました。その結果、高齢化が進み、集落の維持がままならない状況になっています。それが地域の現状です。

人口減少と高齢化（当地区の高齢化率60%弱）に伴い、担い手不足が地域の「農用地の保全」「地域資源の保全」「生活支援の保全」を縮小させています。

今後、さらなる人口減少と少子高齢化が進み続けると、地域コミュニティの維持が難しくなり、衰退から消滅につながる道を突き進んで行くこととなります。



下塚田ふるさと応援隊



## 地域の課題解決の為に：ICTの活用

「担い手不足」を補う為の「システム」づくり

「担い手不足」を補完する為の「省力化」「機械化」

自営ネットワーク構築の可能性

免許不要

ランニングコストが安価

誰でも簡単に端末を操作できる

状況に応じてカスタマイズが可能

双方向通信

キャリアフリー型

その他



下塚田ふるさと応援隊

# 地域の課題解決の為に：自営のネットワーク具体的活用案（1）

## I. 農用地の保全

- ① 園地・ほ場の気象状況や土壌状況のデータ収集、データ分析、構成員全員への端末にデータ分析の情報提供
- ② 生産作物の生育状況及び病虫害発生等のリアルタイムのデータ収集、データ分析、
- ③ 農道、取水施設、排水施設の管理、監視、遠隔操作
- ④ 用水路の流量や水位の遠隔測定
- ⑤ その他



下塚田ふるさと応援隊

## 地域の課題解決の為に：自営のネットワーク具体的活用案（2）

### II. 地域資源の保全

- ① 生産者自ら販売価格を設定できる "CtoC" 型の産直プラットフォームのシステム構築
- ② 地域内生産者が生産する様々な生産物のネット市場（産直市場を含む）の構築
- ③ 農業分野等における農地荒らしなどの鳥獣害対策
- ④ 園地の盗難防止の為に監視カメラ網の構築
- ⑤ ビニールハウスの温度管理に用いるファンや天窓、側窓の開閉等の遠隔確認操作システムの構築
- ⑥ デジタル情報スタンドの設置
- ⑦ その他



下塚田ふるさと応援隊

## 地域の課題解決の為に：自営のネットワーク具体的活用案（3）

### III. 生活支援

- ① 音声合成システム等を活用した双方向通信可能な見守り（生存確認を含む）支援システムの構築
- ② 地域完結型（各家庭一台配布の端末）のネットワークシステムの構築
- ③ 遠隔医療（オンライン診療）福祉サービスを受ける為のシステムの構築
- ④ 移動支援（病院、行政官庁、買い物等）に活用できる予約システムの構築
- ⑤ 安全・安心な生活や地域の活力を維持・向上させる移動利便性の確保
- ⑥ 回覧板等の情報デジタル配信
- ⑧ 災害時における802.11ah対応のドローンの活用
- ⑨ その他



下塚田ふるさと応援隊

**地域が求める課題解決の為に**

**ご提案をお願い致します！**



**下塚田ふるさと応援隊**